

中国規格院によるデータアーカイバー システム評価結果

【評価先】

中国国家新聞出版广电总局規格院 (Metrology and Test Center of Radio and TV Academy of Broadcasting Planning, SAPPRFT)

【評価目的】

パナソニックデータアーカイバー LB-DH7 シリーズの活用事例として、中国 MAM (Media Asset Management)のシステムメーカー 中科大洋社(DAYANG) と連携開発した光アーカイブシステムのパフォーマンス、機能評価を行う。

【評価システム】

- ・ DAYANG-MAM System (Windows)
- ・ データアーカイバー制御サーバ (CentOS)
- ・ LB-DH7 (データアーカイバー)

【評価結果】

- ・ **パフォーマンス: 下記評価指標において合格**
データ記録速度、データ読み出し速度、マガジン搬送時間、フォーマット後マガジン容量、マガジンフル記録時間、フル記録したマガジンの健康診断に要する時間、PtoP (Point to Point) 精度
- ・ **システム安定性: 下記評価指標において合格**
連続アーカイブ/連続ダウンロードが安定して行えること
- ・ **機能確認: 下記評価指標において合格**
キャッシュなしアーカイブ、キャッシュなしダウンロード、キャッシュなし PtoP ダウンロード、アーカイブライン機能、物理削除、論理削除、健康診断、LTO から DA への直接データ遷移、オフライン、ミラーアーカイブ、RAID 効果



上記評価結果を活用し、中国放送業界にてシステム導入を推進しています。